

フィデリティ・ 欧州株・ファンド

追加型投信／海外／株式

販売用資料
2015.05



お申込み・投資信託説明書（交付目論見書）のご請求先は



池田泉州銀行

S I H D

商号等：株式会社池田泉州銀行
登録金融機関 近畿財務局長（登金）第6号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会

フィデリティ投信株式会社



FidelityTM

WORLDWIDE INVESTMENT

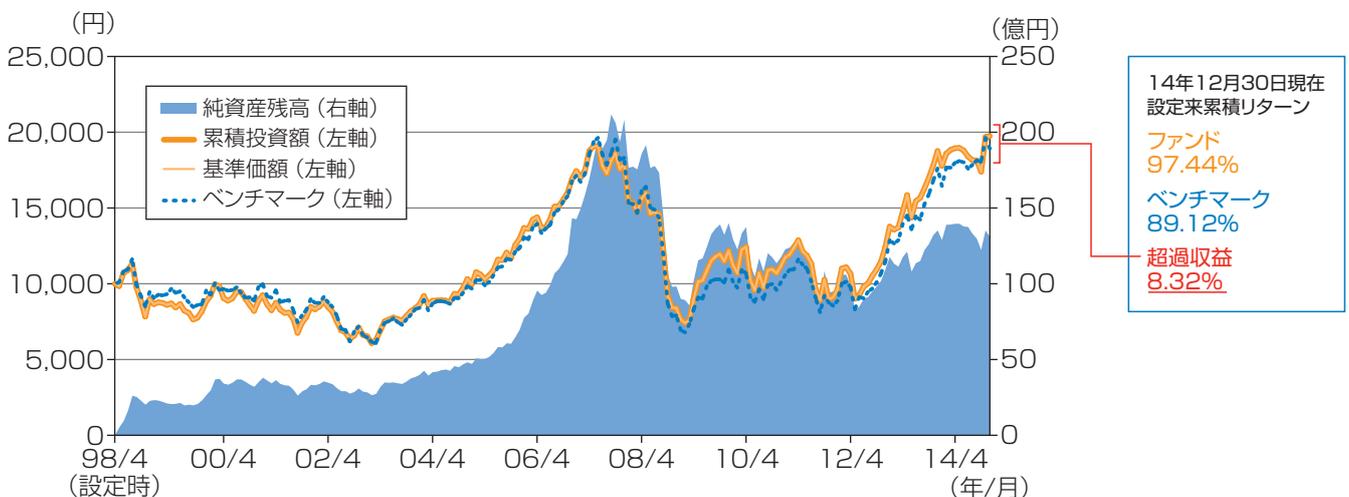
ファンドの特色

- 1 英国および欧州大陸の取引所に上場（これに準ずるものを含まず。）されている株式を主要な投資対象とします。
- 2 個別企業分析により、優良企業を選定し、利益成長性等と比較して妥当と思われる株価水準で投資を行いません。
- 3 個別企業分析にあたっては、欧州および世界の主要拠点のアナリストによる企業調査結果を活かし、現地のポートフォリオ・マネージャーによる「ボトム・アップ・アプローチ」を重視した運用を行いません。
- 4 ポートフォリオ構築にあたっては、分散投資を基本としリスク分散を図ります。
- 5 株式組入率は原則として高位を維持します。
- 6 原則として外貨建資産の為替ヘッジは行いません。
- 7 「ファミリーファンド方式」*により運用を行いません。
- 8 欧州株式の代表的な株価指数であるMSCI ヨーロッパ・インデックス（税引前配当金込/円ベース）をベンチマーク（運用目標）とし、長期的に当該インデックスを上回る運用成果をあげることを目標とします。（ベンチマークとの連動を目指すものではありません。）
 - MSCI ヨーロッパ・インデックスとは、MSCI Inc.の算出する、欧州の株式市場の動きを示す指数です。
 - MSCI ヨーロッパ・インデックスに関する著作権、およびその他知的所有権はMSCI Inc.に帰属しております。MSCI Inc.が指数構成銘柄への投資を推奨するものではなく、MSCI Inc.は当該指数の利用に伴う如何なる責任も負いません。MSCI Inc.は情報の確実性および完結性を保証するものではなく、MSCI Inc.の許諾なしにデータを複製・頒布・使用等することは禁じられております。
- 9 マザーファンドの運用にあたっては、FILインベストメンツ・インターナショナルに、運用の指図に関する権限を委託します。

※資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合もあります。

*ファンドは「フィデリティ・欧州株・マザーファンド」を通じて投資を行いません。上記はファンドの主たる投資対象であるマザーファンドの特色および投資方針を含みます。

運用実績(1998年4月1日(設定日)~2014年12月30日)



※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。ベンチマークは税引前配当金込で算出。ベンチマークはファンド設定日（1998年4月1日）前日を10,000円として計算しています。※ベンチマーク：MSCI ヨーロッパ・インデックス*（税引前配当金込/円ベース）*MSCI ヨーロッパ・インデックスとは、MSCI Inc.の算出する欧州の株式市場の動きを示す指数です。※基準価額は運用管理費用（後述の「運用管理費用（信託報酬）」参照）控除後のものです。※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

※上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。

※6ページの「ファンドの主なリスク内容について」を必ずご確認ください。

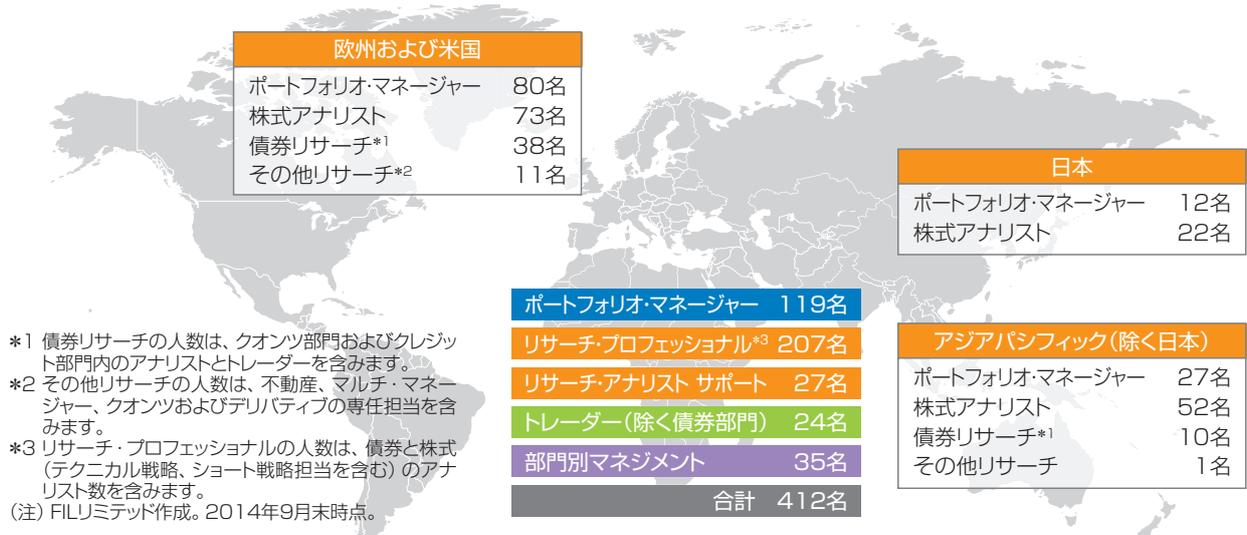
フィデリティ[※]の運用とその魅力

※フィデリティ・ワールドワイド・インベストメントを指します。フィデリティ・ワールドワイド・インベストメントは、FILリミテッド傘下の資産運用サービスを提供する企業のブランド名です。

世界で有数の規模と歴史を有する資産運用会社

フィデリティ・ワールドワイド・インベストメントは、英国、欧州、中近東及びアジア太平洋地域など世界24カ国の個人投資家や機関投資家に資産運用サービスを提供する資産運用のグローバル・リーダーです。

グローバルな調査・運用体制



世界の主要拠点に412名の調査・運用担当者を配置

運用プロセス

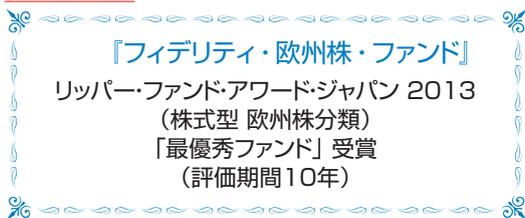
当ファンドの運用は、フィデリティの他の株式ファンドと同様、「ボトム・アップ・アプローチ」の運用手法に基礎をおいています。

「ボトム・アップ・アプローチ」においては、綿密な個別企業調査活動を行うことにより、企業の将来の成長性や財務内容などファンダメンタルズを調査・分析し、その結果をもとに投資対象銘柄を絞り込みます。

最終的にはポートフォリオ・マネージャーが銘柄選択などの投資判断を行い、ポートフォリオを構築します。

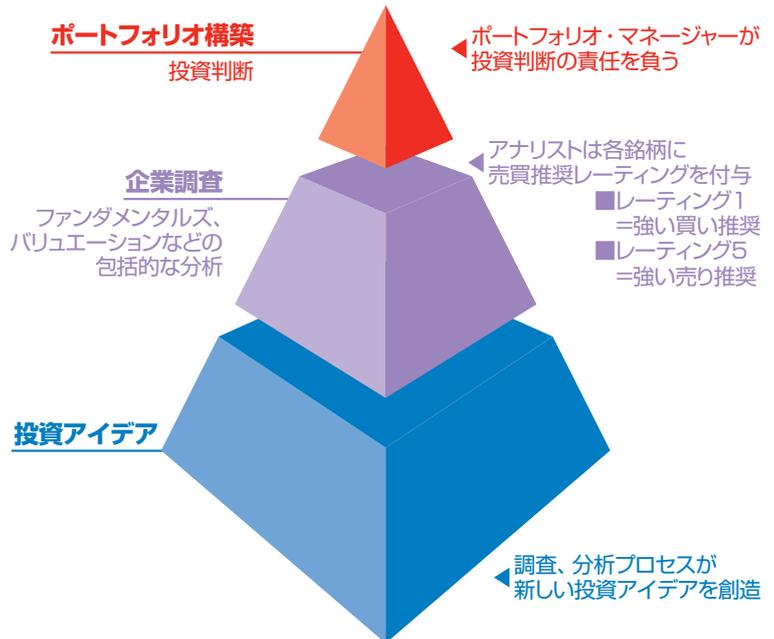
当ファンドの受賞歴

当ファンドの優れた実績が評価され、リップラー・ファンド・アワード・ジャパンでは4年連続で「最優秀ファンド」を受賞しました。



株式型 欧州株分類 評価期間10年において、最優秀ファンドに選ばれ、4年連続の「最優秀ファンド」受賞となりました。

ポートフォリオ構築のイメージ



(注) FILリミテッドなどよりフィデリティ投信作成。上記は本資料作成時点の情報であり、予告なく変更される場合があります。

※上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。
 ※6ページの「ファンドの主なリスク内容について」を必ずご確認ください。

欧州企業の魅力

それは…

欧州企業『特有の成長ドライバー』

欧州企業には、他の地域の企業に無い、欧州という地域特性と地域の地の利を活かした『特有の成長ドライバー』があります。

ポイント1

他の地域に
負けない
「大経済圏」

ポイント2

「大経済圏」の
地の利を活かした
成長期待

ポイント3

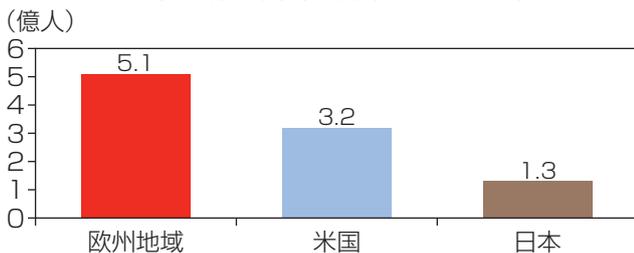
欧州企業から
世界企業への
脱皮

ポイント1

他の地域に負けない「大経済圏」

- 欧州地域の人口、国内総生産(GDP)は米国や日本を上回り一大経済圏となっています。
- 現在の欧州連合(EU)等にいたるまでの「大経済圏」形成の進展によって、東欧諸国などでは低い労働コストを背景とする先進国からの下請け業務のシフトが成長ドライバーとなっている一方、英独などの先進国では特殊分野で先進技術を持つ企業などが数々生まれています。
- 欧州という1つの「大経済圏」は優れた技術や強固な事業基盤を持つ企業の宝庫といえます。

欧州地域、米国、日本の人口比較

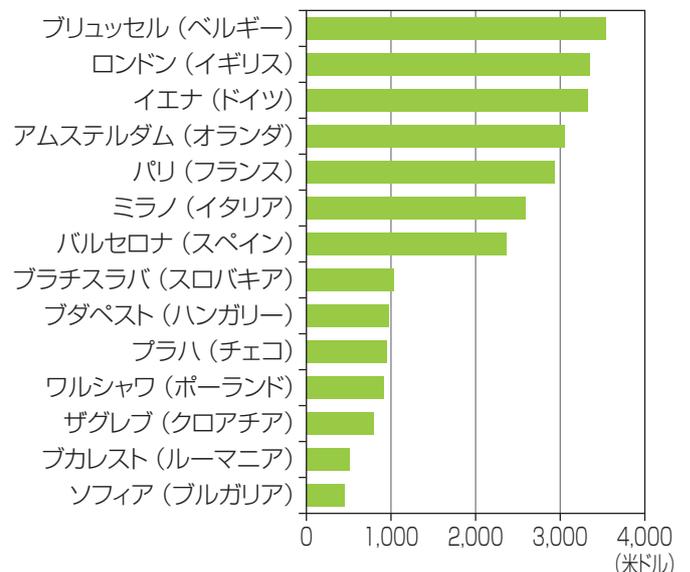


欧州地域、米国、日本の名目GDP比較



(注) IMF (2014年10月発表) よりフィデリティ投信作成。2013年推計値。欧州地域はEU加盟国の合計。

欧州地域各国の労働コスト比較



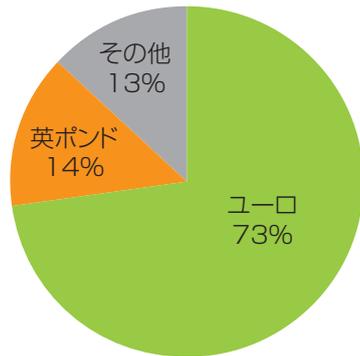
(注) JETROよりフィデリティ投信作成。ワーカー (一般工職) の月額賃金。2015年1月時点取得データ。元データにコストの幅が記載されている場合はその中央値を使用。

※ 上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。
 ※ 6ページの「ファンドの主なリスク内容について」を必ずご確認ください。

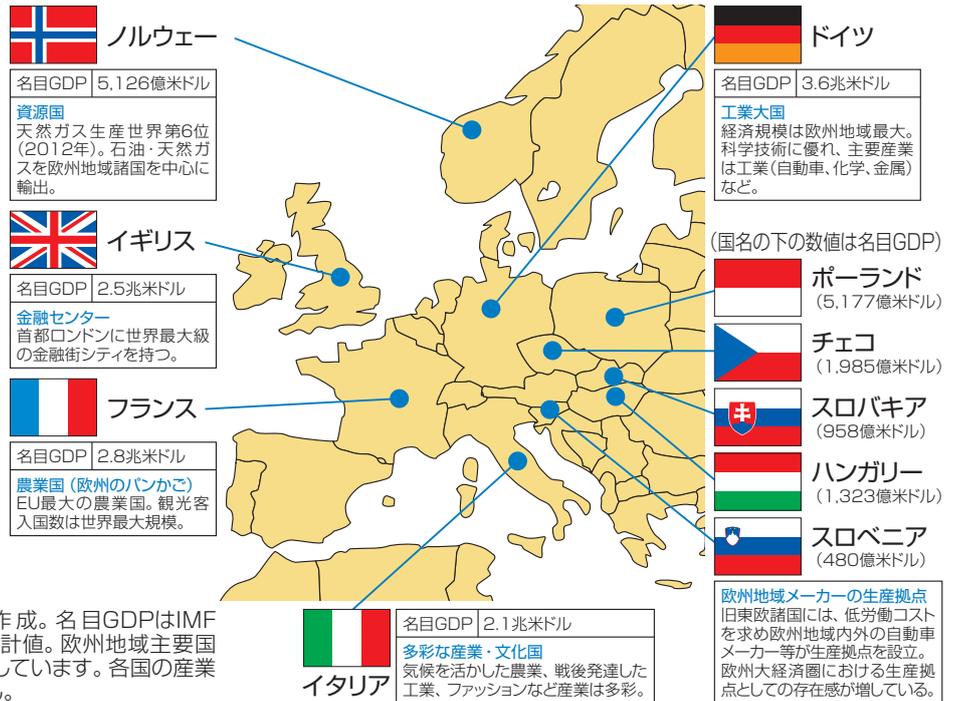
ポイント2 「大経済圏」の地の利を活かした成長期待

- 欧州地域では多くの国同士が陸続きなうえ、通貨「ユーロ」に代表されるような「人・物・お金」の行き来を盛んにし国境をまたぐ経済活動をしやすい環境が整っています。
- 経済成熟度や産業の異なる国々が地の利を活かした活動を行うことで、欧州企業の成長が期待されます。

EUの通貨別名目GDP比率



欧州地域「大経済圏」の多彩な顔ぶれ

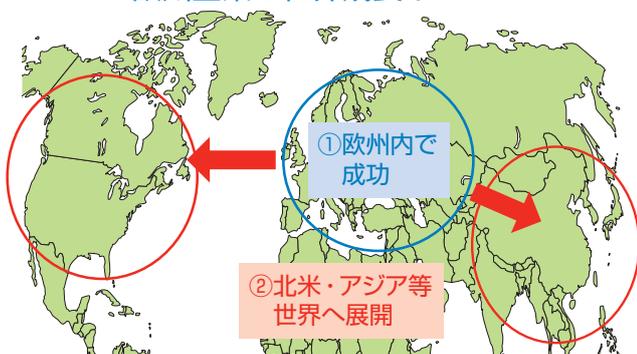


(注) 各種情報よりフィデリティ投信作成。名目GDPはIMF(2014年10月発表)の2013年推計値。欧州地域主要国の産業に関する代表的な特徴を記載しています。各国の産業は上記に限られるものではありません。

ポイント3 欧州企業から世界企業への脱皮

- 欧州企業の中には、欧州市場での事業基盤の確立に成功した後世界へ進出して世界企業として大きく成長し、日本の私たちにとってもなじみ深い存在となっている企業があります。
- EUは、韓国と自由貿易協定(FTA)を締結し、シンガポールやカナダともFTA交渉で合意し、現在米国との交渉を進めています(2014年12月末現在)。貿易協定締結によって、欧州から次の世界企業が生まれるための環境整備が進むと期待されます。

欧州企業の世界成長イメージ



※ 上記はあくまでもイメージ図であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

世界へ展開する欧州企業の例

企業名 (法人登録国、業種)	概要
インディテックス (スペイン、小売)	衣料メーカー。欧州、北・中南米、アジア、アフリカで小売チェーン店を拡大しており、「ZARA」ブランド等を世界各国で幅広く展開。
ノボ・ノルディスク (デンマーク、医薬品)	グローバル製薬企業。糖尿病治療薬、血友病患者用血液製剤、成長ホルモン治療などを手掛ける。世界で事業を展開し、糖尿病治療薬は中国やインドなどの新興国で需要が拡大。
シンジェンタ (スイス、アグリビジネス)	農業用農薬や種子を主力にアグリビジネスを展開する多国籍企業。除草剤、殺虫剤などの農薬や穀物、野菜および花の種子を製造し世界各国で販売。
ASML ホールディング (オランダ、半導体製造用機器)	半導体製造用機器の開発、製造、販売会社。世界中の大部分の半導体メーカーを顧客とする。優れた技術力により、質の均一な半導体を省スペースで製造可能とする装置等を開発。

(注) 各種情報よりフィデリティ投信作成。掲載されている個別の銘柄・企業名については、あくまで参考として述べたものであり、その銘柄または企業の株式等の売買を推奨するものではありません。また、当ファンドへの組み入れを保証するものではありません。

※ 上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。
※ 6ページの「ファンドの主なリスク内容について」を必ずご確認ください。

経済とともに「回復」から「成長」へ向かう企業活動

● 欧州地域経済の「回復」から「成長」への流れとともに、企業活動においても同様の流れが見受けられます。

欧州地域*の購買担当者景気指数 (PMI) 推移

*当グラフで記載の「欧州地域」のデータは、マークイットが発表したユーロ圏の各指数を使用しております。



(注) Bloombergよりフィデリティ投信作成。2006年3月～2014年12月。

欧州株指数と1株当たり利益 (EPS) の推移



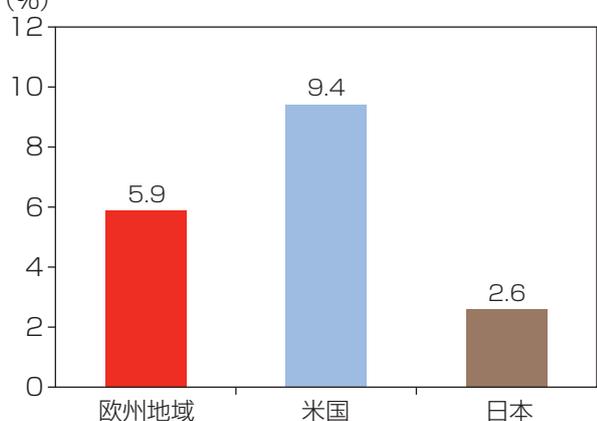
(注) RIMESおよびBloombergよりフィデリティ投信作成。実績EPSは2004年～2014年。予想EPSは2015年～2017年、Bloombergによる集計値。欧州株指数は2004年12月末～2014年12月末。全てユーロベース。欧州株指数はMSCIヨーロッパ・インデックス。期間初を100として指数化。

欧州株の上昇期待

- 今後3年間の、欧州の経済成長ペースは米国を下回ると予想されていますが、欧州企業の1株当たり利益は米国や日本を大きく上回るペースで成長すると予想されています。
- 国全体の経済成長より直接的に株価に影響を与える企業利益の大きな成長は、株価上昇要因になると期待されます。

実質GDP成長予測

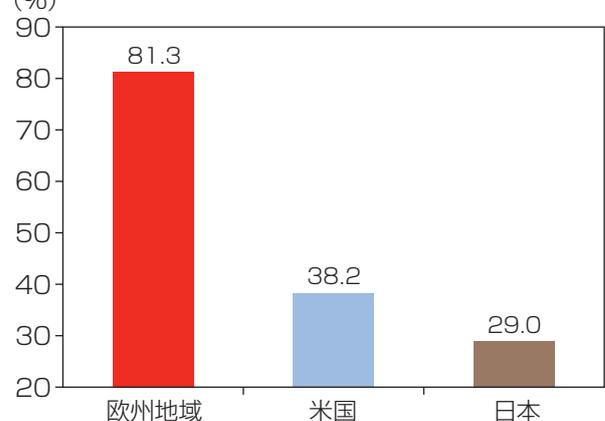
(2015年～2017年の3年間予想累積成長率)



(注) IMF (2014年10月発表)よりフィデリティ投信作成。IMFによる将来予想。欧州地域はEUのデータを使用。

1株当たり利益 (EPS) 成長予測

(2015年～2017年の3年間予想累積成長率)



(注) Bloombergよりフィデリティ投信作成。Bloombergによる集計値。欧州地域：MSCIヨーロッパ・インデックス、ユーロベース。米国：S&P500種指数、米ドルベース。日本：TOPIX、円ベース。

※ 上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。
 ※ 6ページの「ファンドの主なリスク内容について」を必ずご確認ください。

ファンドの主なリスク内容について

基準価額の変動要因

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。したがって、投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。

ファンドが有する主なリスク等（ファンドが主に投資を行なうマザーファンドが有するリスク等を含みます。）は以下の通りです。

主な変動要因

価格変動リスク

基準価額は有価証券等の市場価格の動きを反映して変動します。有価証券等の発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなる場合があります。

為替変動リスク

外貨建の有価証券等に投資を行なう場合は、その有価証券等の表示通貨と日本円との間の為替変動の影響を受けます。

エマージング市場に関わるリスク

エマージング市場（新興諸国市場）への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券の価格変動が大きくなる場合があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

クーリング・オフ

ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

デリバティブ（派生商品）に関する留意点

ファンドは、有価証券先物、各種スワップ、差金決済取引等のデリバティブ（派生商品）を用いることがあります。デリバティブの価格は市場動向などによって変動するため、基準価額の変動に影響を与えます。デリバティブが店頭取引の場合、取引相手の倒産などにより契約が履行されず損失を被る可能性があります。

ベンチマークに関する留意点

ファンドのパフォーマンスは、ベンチマークを上回る場合もあれば下回る場合もあり、ベンチマークとの連動を目指すものではありません。また、投資対象国または地域の市場の構造変化等によっては、ファンドのベンチマークを見直す場合があります。

分配金に関する留意点

分配金は、預貯金の利息とは異なります。分配金の支払いは純資産から行なわれますので、分配金支払い後の純資産は減少することになり、基準価額が下落する要因となります。

分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の利子・配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。計算期間におけるファンドの運用実績は、期中の分配金支払い前の基準価額の推移および収益率によってご判断ください。

投資者のファンドの購入価額によっては分配金はその支払いの一部、または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。

ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがいさかった場合も同様です。

フィデリティ・欧州株・ファンド

追加型投信／海外／株式

商品の内容やお申込みの詳細については

委託会社	フィデリティ投信株式会社
インターネットホームページ	http://www.fidelity.co.jp/fij/
フリーコール	0120-00-8051 受付時間:営業日の午前9時～午後5時または販売会社までお問い合わせください。
留意点	ご購入およびご換金の受付については、原則として、毎営業日(ただし、ロンドン、フランクフルト、ユーロネクスト(パリ)の各取引所の全てが休業する日と同日の場合は除きます。)の午後3時まで受付けます。

その他のファンド概要

設定日	1998年4月1日
信託期間	原則として無期限
ベンチマーク	MSCI ヨーロッパ・インデックス*(税引前配当金込/円ベース) *MSCI ヨーロッパ・インデックスとは、MSCI Inc.の算出する、欧州の株式市場の動きを示す指数です。 MSCI ヨーロッパ・インデックスに関する著作権、およびその他知的所有権はMSCI Inc.に帰属しております。MSCI Inc.が指数構成銘柄への投資を推奨するものではなく、MSCI Inc.は当指数の利用に伴う如何なる責任も負いません。 MSCI Inc.は情報の確実性および完結性を保証するものではなく、MSCI Inc.の許諾なしにデータを複製・頒布・使用等することは禁じられております。
収益分配	毎年11月30日(ただし休業日の場合は翌日以降の最初の営業日)に決算を行ない、収益分配方針に基づき分配を行います。ただし、必ず分配を行なうものではありません。 *将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額 ご換金代金の支払開始日は原則として換金申込受付日より5営業日目以降になります。

ファンドに係る費用・税金

購入時手数料	3.24%(税抜3.00%)を上限として販売会社がそれぞれ定める料率とします。
換金時手数料	なし
運用管理費用(信託報酬)	純資産総額に対し年率1.6524%(税抜1.53%)
その他費用・手数料	・組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用等がファンドより支払われます。(運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を表示できません。) ・法定書類等の作成等に要する費用、監査費用等がファンドより差し引かれます。(ファンドの純資産総額に対して年率0.10%(税込)を上限とします。)
税金	原則として、収益分配時の普通分配金ならびにご換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。税法が改正された場合等には、上記内容が変更になる場合があります。
信託財産留保額	なし

※当該手数料・費用等の上限額および合計額については、お申込み金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※課税上は株式投資信託として取扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」の適用対象です。
※ファンドに係る費用・税金の詳細については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他の関係法人

委託会社	フィデリティ投信株式会社【金融商品取引業者】関東財務局長(金商)第388号 【加入協会】一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会 信託財産の運用指図などを行ないます。
受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社 信託財産の保管・管理・計算、外国証券を保管・管理する外国の金融機関への指示・連絡などを行ないます。
運用の委託先	FILインベストメンツ・インターナショナル(所在地:英国) 委託会社よりファンドの主要投資対象であるマザーファンドの運用の指図に関する権限の委託を受けて、マザーファンドの運用の指図を行ないます。
販売会社	販売会社につきましては、委託会社のホームページ(アドレス: http://www.fidelity.co.jp/fij/)をご参照または、フリーコール:0120-00-8051(受付時間:営業日の午前9時～午後5時)までお問い合わせいただけます。 ファンドの募集の取扱い、一部解約の実行の受付、収益分配金の再投資ならびに収益分配金・償還金・一部解約金の支払などを行ないます。

- 当資料はフィデリティ投信によって作成された最終投資家向けの投資信託商品販売用資料です。投資信託のお申込みに関しては、以下の点をご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身の責任においてなさいますようお願い申し上げます。なお、当社は投資信託の販売について投資家の方の契約の相手方とはなりません。
- 投資信託は、預金または保険契約でないため、預金保険および保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。また、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。販売会社が登録金融機関の場合、証券会社と異なり、投資者保護基金に加入していません。
- 「フィデリティ・欧州株・ファンド」が投資を行なうマザーファンドは、主として海外の株式を投資対象としていますが、その他の有価証券に投資することもあります。
- ファンドの基準価額は、組み入れた株式やその他の有価証券の値動き、為替相場の変動等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、組み入れた株式やその他の有価証券の発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。
- すなわち、保有期間中もしくは売却時の投資信託の価額はご購入時の価額を下回ることもあり、これに伴うリスクはお客様ご自身のご負担となります。
- ご購入の際は投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受取りのうえ内容をよくお読みください。
- 投資信託説明書(交付目論見書)については、販売会社またはフィデリティ投信までお問い合わせください。なお、当ファンドの販売会社につきましては以下のホームページ(<http://www.fidelity.co.jp/fij/>)をご参照ください。
- 当資料に記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。また、いずれも将来の傾向、数値、運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。
- 当資料にかかわる一切の権利は引用部分を除き当社に属し、いかなる目的であれ当資料の一部又は全部の無断での使用・複製は固くお断りいたします。